

一繋がって発信ー

まち・させえ
びと

<73>

の非難に終始していたの
でしようが一人の良心的
なご婦人のお陰で女の子
の気持ちには救われたと思
います。

他人は変えられなくても
自分は変わる
私は拙著「負けるもの
か」のなかでエリック・
バーンの言葉「他人と過
去は変えられない」を引
用させていただきまし
たが、考え方により過去は
変わります。過去の事実
は変えられませんが、受
け止め方が変わると言
うことです。今を充実さ
せると未来が明るくなり
ます。私自身もみらいプ
ラネット発足当時は「そ
んな任意団体を始
めて何をやるのか?意
味ないやろ。所詮、ム
リなことだ」と批判を
受けたりもしました。
しかし、地道な活動を
続けるうちに少しずつ
理解者や支援者が増
え、今では多くの方々
に認めていただくよう
になりました。そのた

活動してきたのです。社
会的弱者救済のための人
権擁護活動はなかなか進
みませんが、今後も根気
よく粘り強く頑張ってい
きたいと思っています。

活動の喜びは人との触れ
あいと絆の実感

夏のある日の朝のこと
です。

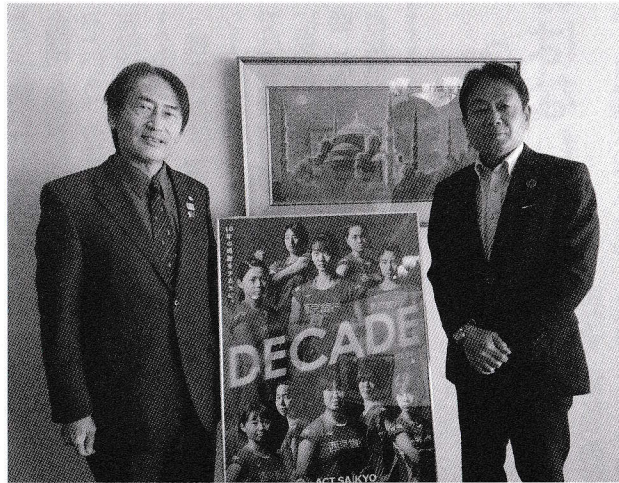
「ねえ見て見てっーあ
の子の服、なんなの?あ
り得ないわねえ」

ご年配のご婦人グルー
プ4人のうち3人

が、女子高生らし
い女の子を指さし
て大声で話してい
ました。朝とはい
え真夏、その日は
特に朝早くから蒸
し暑かったのを覚
えています。

そのご婦人グル
ープの3人が頷き
ながら「そうね、
あれはダメよねえ
〜」「常識ないわ
ねえ〜」などとそ
の女の子に聞こえ
る声で口々に非難
していました。しかし、

常識という非常識



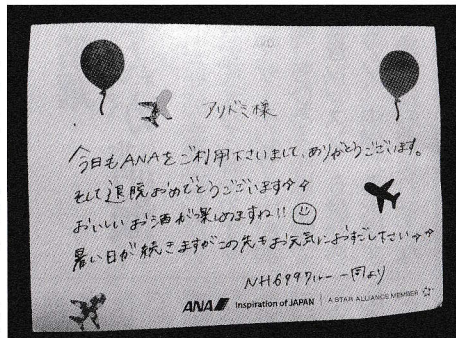
啓発活動に協力いただいている平岡英雄西京銀行
頭取(右)を訪問する有富理事長

いも難病も個性です。個
性を尊重することで他人
への非難は無くなりま
す。女の子の服装が良い
か悪いかわかりません
が、白か黒かではな
くグレーゾーンがあり
ます。全てに0点か10
0点をつけてしまうと、
結果的に自分を追い詰
めることになりまし
た。他人を責めたりす
ることはやめ、他人
への評価や非難をし
ても、他人を簡単に
変えられませんが、今
を充実させるために
自分を研鑽し、た
方が良いと思います。

私が見たところ、若い女
の子が普通に着ている服
と大差ないように感じま
したが、ご婦人らにとっ
ては許せなかったのだし
ょうか。女の子はうっ
き加減でその場から早
く立ち去ろうとしていま
した。すると、それまで黙
って聴いていた一人の
婦人が、突然口を開き、
「いいんじゃないの?若
いんだから。若い子に注
文つけるぐらい今の私
たちの着こなし、完璧
って言えるのかしらね?」
と言った途端、非難し
ていた3人は口を開
きました。

ようか。人はそれぞれ育
ってきた家庭環境や人生
があり、考え方のパター
ンはいくつもあるはずな
のですが、「常識」の一
言で片付けられてしま
います。考えや行動が異
なる人を受け入れず「自
分の常識」を押しつけ
てしまいがちです。その
上、日本の民族性である
集団主義により、周囲
の状況や雰囲気に対し
て考えや行動を合わせ
ることが正しいとされ
てしまっています。前
述のご婦人グループ
も3人だけなら女の子

も難病も個性です。個
性を尊重することで他人
への非難は無くなりま
す。女の子の服装が良い
か悪いかわかりません
が、白か黒かではな
くグレーゾーンがあり
ます。全てに0点か10
0点をつけてしまうと、
結果的に自分を追い詰
めることになりまし
た。他人を責めたりす
ることはやめ、他人
への評価や非難をし
ても、他人を簡単に
変えられませんが、今
を充実させるために
自分を研鑽し、た
方が良いと思います。



東京女子医大に1ヵ月間入院した帰山時、
息を切らした有富さんを気遣いCAさん
から送られたメッセージ

心配してくれてい
るのですね。マ
ラソンというス
ポーツは自分
の闘いだと言
われていま
すが、そこ
で培った自
分の

白か黒かという思考を断捨離しよう

(認定NPO法人) 有富健
理事長

佐波川環境パートナーの会に助成

大同生命厚生事業団が支援

みらいプラネットの活動にも

市内の2団体がこのほど、大同生命厚生事業団（大阪市）の助成を受けた。子どもたちが水に親しむ事業などを展開する「佐波川環境パートナーの会」（吉松忠直会長）は、シニアボランティアで、次世代に向けた人権学習に力を入れる「みらいプラネット」（有富健理事）

長にはビジネスパーソンのボランティアで、各10万円の活動助成金が贈ら

れた。佐波川環境パートナーの会は、上右田や高井などの5老人クラブと連携して佐波川で体験学習などを実施。2003年度会長は「新型コロナウイ

ルスでほとんどの活動が実施できない中、いただいた助成を活用して、整備を進めていきたい」と話す。

みらいプラネットは、防府、山口市の小学校低学年向けに、漫画本形式でわかりやすくした人権学習啓発図書を贈呈。従来は1校に1冊ずつのペースで配付してきた。「今後はクラスの人数分を用意したい。読書会などにも使ってほしい」という有富理事長。「人と人との先入観がない理解を養う一助にしたい」

本年度、大同生命厚生山口」も10

事業団による助成は43都道府県で147件、総額2200万円。1974年の発足以来、最多件数の助成となった。県内では、山口市で福祉施設訪問やサロン開催で高齢者に楽しんでもらう活動を続ける「ビューティーケア